

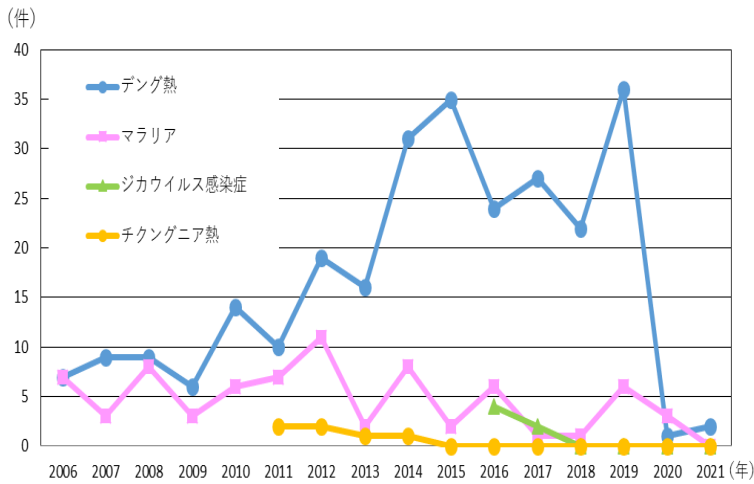
蚊媒介感染症に気をつけて



蚊媒介感染症は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり2020年以降報告数が激減しました。しかし、2022年6月から日本の新型コロナウイルス感染症に対する水際対策が大幅に緩和されることもあり、感染者数増加に注意が必要です。

神奈川県内の主な蚊媒介感染症の報告数年次推移

蚊媒介感染症の報告数
2006年～2021年 神奈川県



*2011年よりチクングニア熱、2016年よりジカウイルス感染症が全数把握対象疾患となりました。

○神奈川県の蚊媒介感染症の報告では、デング熱が最も多く、マラリアも少数ながら報告があります。

○2014年に、デング熱の国内感染例が報告されました。それ以外はすべて国外感染例ですが、国内でも国外でも蚊への注意が必要です。

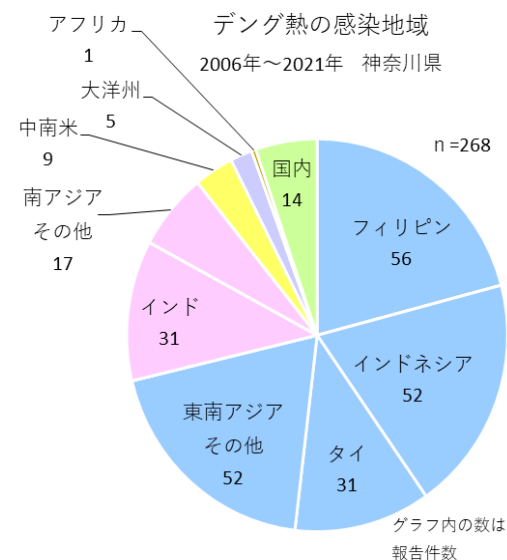
○新型コロナウイルス感染症の影響で、日本から海外への旅行者・海外から日本への旅行者ともに減少したため、蚊媒介感染症の報告数も減少しています。

○今後渡航に関する制限緩和に伴い、報告数が急増することも十分考えられるので、注意が必要です。

デング熱はアジア、マラリアはアフリカでの感染が多い

デング熱の感染地域の内訳は右図の通りです。日本から旅行、出張、留学で渡航者が多い東南アジアや南アジアでの感染が多くみられます。

マラリアはアフリカ、ジカウイルス感染症は中南米での感染が多くみられました。



蚊媒介感染症への対策は・・・

1 蚊に刺されない！

長袖・長ズボンを着用し、肌の露出を減らす。
虫よけ剤を使う。
蚊取り線香・蚊帳を使用する。

2 蚊を増やさない！

水たまり（幼虫のすみか）を作らない。
下草（蚊のたまり場）を刈る。

3 蚊媒介感染症を疑う症状が出たら

早期診断・早期治療が大切。
速やかに受診し、渡航歴を伝えよう。

神奈川県衛生研究所 企画情報部 衛生情報課
電話：0467-83-4400 FAX:0467-83-4457
<https://www.pref.kanagawa.jp/sys/eiken>

(令和4年6月作成)